

【意見】

当事務所前の街路樹と生垣の一部は、今春生育と開花が遅く感じます。昨冬、除雪の際に樹の根元に雪を寄せました。それが原因かもしれません。融雪の目的で塩カルを市道にまきますので、遠因が疑われます。広報ぬまたの除雪注意事項に乗せたほうがいいのかもかもしれません。

また、柳町の市職員駐車場に面する歩道の街路樹が、何本も切り株が残っています。ストリートビューで比較可能です。枯れて切除ならまだしも、職員の駐車場の利用の便益のためであれば、公益の優先度から説得力に無理があると思われるかもしれませんが如何でしょうか。

男性 60代：市内在住

【回答】

ご意見をいただいた凍結防止剤（塩化カルシウム）についてですが、特に、スパイクタイヤの使用が禁止されてからは、凍結防止剤が原因と考えられる植物への影響が多くなってきております。

市といたしましては、凍結防止剤は冬期間における交通事故の防止など、道路上の安全を守る上で必要不可欠であるため、今回いただいたご意見を参考に、除雪事業者等に周知するとともに、個人の敷地内の雪を道路上に排出しないよう、併せて周知を図ってまいりたいと考えております。

また、柳町の市職員駐車場に面する歩道の街路樹の切り株が残っている件についてですが、該当市道（環状線）の街路樹につきましては、開通以降、市（都市計画課）が点検及び剪定等の管理を行っており、当該樹木については立ち枯れにより、安全性を考慮し伐採を行ったものであります。

今後伐採等で街路樹が減少した場合には、予算を鑑み、補植等の計画を行っていく予定でありますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

担当：都市建設部
建設課
都市計画課